

議会だより

吉野川市

NO.27



「全国制覇のおやじバンド」 大栗 洋子（鴨島町）

目次

議案の審議から……………P 2	市民のページ・クイズ……P15
代表・一般質問……………P 4	市民の皆さんへの募集……P16
議会構成……………P14	

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2011.8.25

平成23年6月議会定例会

議案の審議から

日程：平成23年6月6日～6月24日

6月定例会では、条例関係案1件、専決関係案11件、その他12件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

文教厚生常任委員会

専決処分の承認を求めることについて

▼平成22年度吉野川市一般会計補正予算 第6号について

質問 高齢者住宅改修促進事業補助金について、120万円の減額となつていて、利用者が1件もなかったということなのか。

福祉総務課長 高齢者住宅改修促進事業補助金については、該当がなかったということである。この事業は、65歳以上の高齢者のいる世帯で、世帯全員が所得税非課税で、該当高齢者が虚弱により日常生活で何らかの介助が必要な方が対象となり、手すりであるとか段差の解消とか、洋式便器に取り替えなどにかかる助成を行うものである。申請件数は、平成22・21年度ともなかったが、



手すりなど改造されたトイレ

平成20年度は1件、平成19・18年度もゼロ、平成17年度は2件という状況である。この事業に対して申請件数が少ない理由として、事業の優先順位があり、条件に該当する方で1番目の優先順位は、介護保険の住宅改修事業で、2番目には、重度身体障害者住宅改修助成事業がある。これらの事業に該当しなかった方が、この事業を利用するということになり、そういった理由で申請件数が少なくなるといふことで理解いただきたい。

質問 学校管理費で、光

熱水費が248万円と118万円が、その理由は。

学校教育課長 小・中学校の光熱水費の減額であるが、学校の努力により、節電と節水に努めた結果と考えている。

質問 太陽光発電を取り入れたために、光熱水費が減つたのではないか。

学校教育課長 太陽光パネルが設置されてから、平成21・22年度の年間の比較をすると、小・中学校合わせて、全体で86万円程度の料金が安くなつている。

◇以上異議なしで承認

産業建設常任委員会

専決処分の承認を求めることについて

▼平成22年度吉野川市一般会計補正予算 第6号について

▼平成22年度吉野川市簡易水道事業特別会計補正予算 第3号について
◇以上異議なしで承認

▼その他の質問▲

質問 徳島県では定期的に道路・パトロールを行っているが、本市の建設課ではどのように行っているのか。

建設課長 建設課では、道路・河川のパトロールを補修班を中心に行っている。ただ、補修作業と平行して巡視を行っているため、細かな点までは目が行き届かない部分があるが、できるだけ細かい巡視を行い、危険箇所の把握に努めたい。

質問 耕作放棄地はもつ

放置された畑



とたくさんあり、貸したい人ももっと多いと思うにも関わらず問い合わせ件数が少ない気がするが、そういう認識はあるのか。

農業振興課長 周知の方法としては、広報よしがわ、ホームページによって行っており、農地情報もホームページに掲載

している。問い合わせ件数については、少ないという感じを受けており、今後は周知の方法を考えていく必要がある、農業委員会などを通じて農業委員に制度の周知、情報の提供をして、JAや認定農業者にも積極的に情報を提供していかねばいけないと考えている。

質問 本市が管理している橋りょうの耐震診断はすべて終わったのか。

建設課長 耐震診断について、基本的な調査はすべて終わっている。これから耐震化の優先度の高いものから順次、耐震補強工事を実施していく予定で、近いうちに市民の方にもわかりやすい形で公表したい。

質問 鴨島3号雨水幹線の現状は。

下水道課長 鴨島3号雨水幹線は総事業費が約32億円で、そのうち管渠614m、4億2600万円分

が完成済みであり、残事業がポンプ場と管渠580mの2億7600万円となっている。事業がストップした背景には、財政状況の悪化による下水道事業の縮小などがある。

雨水対策については、現在の下水道事業計画では早期実現の可能性がないと判断しており、今までに完成しているボックスカルバートを有効利用して、ポンプで強制的に排水する緊急的な浸水低減対策を計画している。

現在、下水道課内で工法の協議などを行っており、今年度中に基本計画、実施設計までを行いたいと思っている。

内原地区の雨水対策については、地域住民の高い関心があり、平成24年度か平成25年度までには緊急雨水低減対策が完了するように努力していきたい。

総務常任委員会

専決処分の承認を求めることについて

▼平成22年度吉野川市一般会計補正予算 第6号について

質問 選挙費、備品購入費について8万5000円を減額しているが、その理由は。

市民生活課長 平成21年に実施された政府による事業仕分けで、参議院議員選挙関連経費が対象となり、平成22年度に実施される参議院選挙の国の予算は平成19年度執行予算の20%減額となった。その結果を受け、平成22年度は備品の購入を断念した。

質問 衛生費、負担金補助および交付金について、浄化槽設置整備事業補助金についても1640万円減額しているが、その理由は。

環境企画課長 平成23年



一般住宅用合併浄化槽

を改正する条例制定について

質問 東日本大震災に伴う被災納税者の実態に照らした市税条例の一部改正とのことであるが、本市に該当者はいるのか。

税務課長 現在までに相談などに来られた方はいないが、福島県から本市に移転された方がいるようである。平成22年度中にとどのような所得があったかについては、現時点では把握できていない。この方から申請などがあれば、説明など対応したい。

▼吉野川市庁舎増築工事請負契約の締結について

質問 平成23年度4億2000万円、平成24年度6億3000万円とのことであるが、いつから工事に入るのか。

総務部次長 着工は議会の承認の翌日から、完成は平成24年11月30日を予定している。

◇以上異議なしで可と決定

◇以上異議なしで承認

▼吉野川市税条例の一部

代表・一般

ここが聞きたい

質問

6月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 栗原五男 議員

○ 安全安心への取り組みについて

○ 財政状況の見直しについて

● 麻植協同病院の移転改築について

○ 中心市街地および市の活性化について

○ 小学校における防災訓練について

○ 職員研修について

② 高木純 議員

○ 保健事業などの取り組みについて

○ 買い物難民の救済について

● 市内ライフラインの耐震化について

○ 広報活動について

⑥ 工藤俊夫 議員

● 飯尾川改修について

○ 地震・水害の防災対策について

⑦ 榎納謙司 議員

○ 教育について

○ 文化・芸術について

● まちの活性化について

⑧ 枝澤幹太 議員

○ 吉野川遊園地について

○ 東日本大震災の教訓から（地震・水害）

● 市民の安全・安心について

○ 職員の人材育成について

⑨ 岡田光男 議員

● 災害に強いまちづくりについて（東日本大震災を教訓として）

○ 麻植協同病院の吉野川遊園地跡地への移転について

○ スポーツ施策について

⑩ 田村修司 議員

● 第5期介護保険事業計画について

○ 介護予防日常生活支援総合事業について

○ 地域包括支援センターについて

○ 介護保険料について

⑪ 岸田秀樹 議員

○ 安全・安心について

● 庁舎増築棟における防災施設について

○ ごみ収集所設置について

○ 吉野川遊園地の利用について

一般質問

③ 相原一永 議員

● 防災セーフティネットについて

○ 職員の業務改善への取り組みについて

○ 屋外広告物設置と道路占用について

④ 川村洋樹 議員

● 吉野川上流部の河川敷に設置予定の一般廃棄物最終処分場の設置に伴う水質汚染について

○ 本市における少子化対策について

○ 特別支援教育について

○ 地域福祉計画について

○ 介護保険事業計画について

⑤ 福岡正 議員

● 地域福祉計画について

○ 介護保険事業計画について

○ 社会資本整備総合交付金事業について

本会議・委員会の傍聴をしませんか

皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。



どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。 TEL 22-2241

● 会議録をご覧ください ●

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索



代表質問

栗原五男議員
(薫風会)



麻植協同病院の移転改築の経緯と今後のスケジュールは

(質問)

基本・実施設計で約1年6か月程度、工事期間として2年程度を要する

(答弁)



8月末閉園予定の吉野川遊園地

◎質問 吉野川遊園地の閉園後の跡地に麻植協同病院が移転改築するとの報道があったが、なぜ財団法人江川遊園地の土地が本市に寄附されるのか、どのような経緯で麻植協同病院の移転改築が決まったのか。

し定款に従い所有地約2・5haが本市に寄附されることになった。財団からは寄附予定地には、福祉や保健、医療環境の充実などの事業に活用していただきたいとの要請があった。※厚生連からはかねてから閉園後の吉野川遊園地跡地を移転候補地として徳島興発(株)と

○河野副市長 吉野川遊園地の土地は、財団法人江川遊園地が大部分を所有している。閉園に伴って、解散することを決定

協議を重ね、同社が所有する約1haと本市に寄附される分を合わせて3・5haを麻植協同病院の建

設用地として確保したいとの申し出があった。現在、麻植協同病院は本市の中核的病院としての役割を担っており、移転改築を実現することは、市民の医療関係の向上に大きな役割を果たすことから、寄附予定地の無償貸し付けについて検討している。

◎再問 病院の移転改築は、災害拠点病院としての耐震化とともに救急医療を初めとする医療の高

度化を推進することのことが無償貸し付けの法的根拠と今後の事務処理および改築スケジュールと施設規模は。

○河野副市長 寄附される土地は市の普通財産として受領する予定である。吉野川市財産の交換・譲与・無償貸し付けなどに関する条例第4条にもとづき、公益事業である医療の用に供するため、無償貸し付けができるものである。今後のスケジュール

◎防災局長 義援金は社

ルについては、基本・実施設計で約1年6か月、工事期間として2年程度を要し、現病院と同程度の300床が保たれる。

◎再々問 子育て支援の観点から産科の分娩の再開を積極的に要望していく考えは。

○川真田市長 麻植協同病院は本市における市民病院といえる。産科での分娩再開についての重要性は十分認識している。厚生連に対し新病院における分娩再開を強く要望していく。

※厚生連とは
徳島県厚生農業協同組合連合会の略。

[その他の質問]

◎質問 東日本大震災における本市の取り組み状況と防災対策の見直しは。

○防災局長 義援金は社

協で取りまとめ日赤徳島支部を通じて送金、物資も宮城県へ送り、4月8日からは1名ずつ交代で石巻市へ派遣している。防災計画は、見直しを重点的に行い、3連動地震に備える。

◎質問 地域おこし協力隊とまちづくりへの考え方は。

○産業経済部次長 今後先進地の事例を参考に検討する。

◎質問 小学校とPTAを含めての防災訓練は。

○教育次長 自主防災訓練に参加し防災意識を向上させたい。

◎質問 一般企業での職員の研修の具体的な内容は。

○総務部次長 市内の間企業で新入職員17名全員が研修する。



高木 純 議員
(日本共産党)

水道や下水道など市内のライフラインの耐震化はできているのか

(質問)

今後計画的に取り組まなければならぬ

(答弁)

◎質問 厚生労働省が調べた「水道事業における耐震化の状況（平成21年度）」によると徳島県の基幹管路の耐震適合率は18・4%と全国平均の30・3%を大きく下回っている状態だが本市はどうなのか。

また、各町にある浄水施設や配水池、配水タンクに水を送る送水管、配水タンクなどの施設は耐震化できているのか。

下水道は、川島・山川町は比較的新しいが、鴨島町はかなり以前から公共下水道事業を始めてい

るので大きな地震に耐えられるか心配される。そこで下水道についても各汚水浄化処理場の耐震化、下水道管路施設の耐震化はどうなっているのか。

○松田水道部長 本市の基幹管路の耐震適合率は16・2%で耐震化が遅れている。上水道の施設では液状化現象が想定される鴨島・川島町。そして、可とう管（地震などの揺れを吸収するパイプ）が設置されていない山川町については対策が必要

で、計画的に取り組むべきと考える。しかし、基幹管路などの耐震化は平成40年までに事業費17億5000万円、基幹施設の耐震補強は平成30年までに8540万円と膨大な予算が必要となる。

下水道の耐震化については、施設が新しい山川・川島町の浄化センターは新耐震基準適合の施設であり耐震化は図られてい

る。鴨島町の浄化センターは平成4年に完成し、当時の耐震化はなされているが、平成18年に出された新耐震基準については今後検討を行い、適正に対応したい。

下水道管路施設についても、平成18年より前に施工した管路施設については耐震対策指針の内容を見て、今後検討したい。



市役所東側の鴨島浄水場

一般質問



相原 一 永 議員

震災で命を守るために、耐震シエルターの購入助成をしようか

(質問)

他の自治体を調査し検討したい

(答弁)

◎質問 命を守るため、住宅の耐震化が急務である。住宅の耐震補強などの助成はあるが、経済的な理由など様々な障害があるために、住宅耐震化についてはまだまだ取り残され、安心・安全を確立出来ていない家庭が多い。

耐震化の推進はもちろん全力で取り組んでいく必要があるが、少なくとも命を守り、生き抜くために、他に何らかの方法

はないものか。

例えば防災ベッドの普及や家具の転倒防止金具の設置、さらにシングルベット2台を入れることができる耐震シエルターの購入助成、市民が命を守るための商品を購入し、活用できるようにしていくことも大切なことだ。

また、民間の商品を市民に紹介し、自助を促すとともに、助成制度の拡充などの支援強化の検



生命を守る防災ベッド

討、実行をすべきと考えるが。

○上野防災局長 家庭での震災対策・災害対策の必要性が高まっており、

これらに関する防災商品が数多く販売されている。また、訓練時に配布している防災ハンドブックなどでも、家の中の安全対策などを紹介してい

る。家具の転倒防止などが無償で支給されている自治体もあり、他の自治体の取り組みを調査の上、検討したい。

◎再問 この耐震シェルターは、部屋の中に設置する頑丈な箱のようなもので、防災ベッドは枠を金属などで補強し、地震による住宅の倒壊から身

を守るための装置になっている。耐震シェルターの啓発・費用の助成を実行すべきと考えるが。

○上野防災局長 耐震シェルターについて、いろいろ調査し財政問題もあるので検討したい。

◎再々問 耐震シェルターは一般的にあまり知られていない。先進地を学び、ぜひ市民へ啓発をし、費用の助成を前向きに検討するよう要望しておく。

【その他の質問】

◎質問 職員の業務改善の一環として企業が取り組む※ベンチマーキングを取り入れてはどうか。

○総務部次長 本市としてベンチマーキングを取り組むには研究が必要と考えている。

◎質問 違反広告物や不正に公道を使用している

者に対して撤去制度の創設や広告主・持ち主に対するの責任追及をすべきと考えるが。

○建設部長 県と連携を図り台風や地震などで広告物の落下や倒壊で市民に危害がおよばないよう安全性の確保に努める。また、無許可の占用物件は、撤去も含めて適正に指導していく。

※ベンチマーキングとは 他社や先進企業が実施している戦略、製品、サービス、プロセスなどについて優良・最高の事例（ベストプラクティス）を探し、それを参考として自社の業務改善に取り組み経営管理手法のこと。



川村 洋樹 議員

吉野川上流部に設置予定である最終処分場の水質汚染について

(質問)

本市に被害がある場合は、施設の是正措置を国または県に要請する

(答弁)

◎質問 ごみ処分場の位置は、美馬市の最下流部にあり、その被害が本市におよぶことは明白である。処分場のごみの量および内容で悪影響をおよぼすごみが混ざっているのか。新しいごみ処分場計画は、15mも積み上げ、堤防より10mも高くなる」と聞いているが、台風による浸水も心配される。

吉野川上流から流れてくると考えられる汚水などについて、本市は市民にどう説明するのか。また、

た、美馬市からどのような説明を受けたのか、見解を問う。

○河内環境局長 現施設のごみの量および内容は、本市では詳細を掌握していないが、美馬市の広報・ホームページによると、埋設量は21万7000m³、ごみの種類は、可燃ごみ88・5%、不燃ごみ4・2%、鉄類0・3%、河川堆積物7%、特別管理一般廃棄物の医療系廃棄物は平成18年と22年の調査では

確認されていない。河川保全区域内の当該最終処分場を区域外に移設するため、現在より改善すると聞いている。

◎再問 ごみの内容説明に焼却灰が入っていないが、焼却灰が含まれる最終処分場はダイオキシン類による影響が懸念される。

ダイオキシン類による被害が出た場合、どこに責任があるのか。廃棄物の処理および清掃に関する法律の第9条の3に触れられている周辺地域・生活環境の保全上意見を提出できる利害関係を有する者に本市があたるのか市の認識は。

○乗原総務部長 公共団体が設置する公の営造物である一般廃棄物処理施設の設置、管理の[※]瑕疵による本市民への被害は設置者および管理者に賠償責任があり、本市としては、地方自治法にもと

づく施設の是正措置を国や県に要請していく。

○河内環境局長 本市は、周辺地域および利害関係を有するものに該当しない。

※瑕疵とは
きず、欠点。法的に何らかの欠陥・欠点のあること。



美馬市にあるごみ処分場

◎再々問 被害が出た場合、利害関係がないと法的に明確に根拠で示されているのか。

○河内環境局長 利害関係に関する法的根拠については、資料など持ち合わせてないので、委員会にて審議を願う。

【その他の質問】

◎質問 少子化対策として若者定住促進地域活性化補助金や妊婦健診に伴う交通費の支給制度を新設しては。

○建設部次長 今後研究する。

○健康福祉部次長 財政事情を考慮し検討する。

◎質問 特別支援教育にIT関連機器を導入しては。

○教育次長 実用可能か検討する。



福岡 正議員

地域福祉計画未策定の現状と、今後の地域福祉の推進をどのように考えているのか

(質問)

本市の障害福祉計画や介護保険事業計画、県の地域福祉支援計画の状況を見極めながら検討する

(答弁)

◎質問 地域福祉の理念は、地域社会の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現しようとするもので、地域福祉を推進していくためには地域福祉計画の策定が不可欠である。



しかし、合併後7年目を迎える本市では、いまだに地域福祉計画が策定できていない。福祉分野における個々の計画を網羅し、行政と住民が共同して策定されるべき地域福祉計画が策

社の現状と推進について、どのように考えているのか。

○鎌田福祉事務所長 本市では合併後、老人福祉計画、介護保険事業計画、障害福祉計画、健康吉野川21などの計画策定に取り組んできた。

地域福祉計画は、これらの計画との整合性および連携を図るとともに、これらの計画を内包する計画として策定する必要がある。

今年度は、障害福祉計画の第3期計画と介護保険事業計画の第5期計画策定年度となっております、それらの計画の状況を踏まえるとともに、県が策定する地域福祉支援計画の状況を見極めながら検討を進めていきたい。

◎再問 価値観やライフスタイルも時代とともに多様化しており、引きこもりやニート、自殺者の増加や虐待問題などに見

られるように、個人の抱える問題も複雑化している。地域でのつながりも希薄化している状況を踏まえ、行政や地域が一体となって推進する協働の取り組みに関して、基本的な理念や方向性を早急に示す必要がある。

県内の自治体が計画策定を進めているが、本市の計画着手時期はいつ頃なのか。

○鎌田福祉事務所長 行政や福祉関係者などの参加を得て、より多くの意見を伺いながら、財政当局と十分協議を行い、平成24年度で予算要望を行っていききたい。

○健康福祉部長 第5期計画策定にあたっては、第4期計画期間中の評価を含めた現状分析やアンケート調査を予定している。

不適切な給付の防止や事業所への指導など給付費の抑制対策を進めるとともに、各種介護予防事業にも取り組んでいる。保険料の負担が過重にならないよう次期計画策定に努めていきたい。

○質問 北新田道南87号線改良工事の進捗状況は。

○建設部長 現在235・5mの区間の工事を終え、一部を供用している。周辺の道路事情は理解しているが、未買収地が1件残っている。用地関係者の協力が得られるよう、誠意を持って交渉を進めていく。



工藤 俊夫 議員

飯尾川改修の取り組みは

(質問)

麻名用水堰の撤去は最終的な補償交渉に

(答弁)

○質問 合併後、建設部は4人の部長が就任されたが、いまだ飯尾川改修について進展がない。

そこで、市長および建設部長は本腰を入れて、湯吸谷川排水機場、毎秒10tの実現に向けて取り組む意思はあるのか。また、開かずの樋門については、どこが管理をしているのか。樋門の内側に位置している土砂の※浚渫・雑草・竹林の伐採はどうするのか。

また、藤井谷川と麻名用水が交差しているみかわ橋の下に小さな構造物



飯尾敷地小学校の北にある「開かずの樋門」

に進められている県と麻名用水組合との交渉も最終段階にはいつている状況であり、両者の早期合意ができるよう側面から協力していきたい。

○川真田市長 国や県に事業推進を強く要望していく。

○再問 事務方のトップである河野副市長の決意は。

○河野副市長 一日も早い堰の撤去と、ふとんかごの撤去、あるいは全般的な河川改修が行われるよう精一杯職務を全うしたい。

※浚渫とは 海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること。

【その他の質問】

○質問 自主防災組織の訓練はどのように実施しているのか。

があり、これが、雑木やごみが絡まってせき止めている。この水路の撤去はできるのか。さらに、鴨島町内の水を円滑に流すためには、麻名用水堰の撤去が一番不可欠であると考える。現在、県と麻名用水土地改良区で撤去に向けて交渉が行われていると聞けが、どの程度進んでいるのか。

○松岡建設部長 検討事項をもとに要望書を作成し、国へ排水場建設を県には排水機場までの河道整備を要請する。

開かずの樋門の管理は県で、開閉などの管理はできていないが、今後は、飯尾川に流入するよう対策を講じる。土砂の浚渫・雑草・竹林についても伐採する。また、みかわ橋にある構造物について確認の上、県に要請する。飯尾川橋のふとんかごについては、麻名用水堰を撤去すれば解決する。

また、新しい提言については、現在実施中の飯尾川改修事業において麻名用水堰を撤去し、新たな取水施設を設けることで、利水と活水双方の懸案を解消できる。現

○防災局長 各自主防災組織での初期消火訓練・炊き出し訓練・避難訓練・大規模なものとしては、各校区ごとに開催している総合防災訓練を実施している。

あるのか。

○防災局長 適地として8か所が指定されており、一部は、台風などの豪雨により、使用できないと想定され、避難場所となつている場所への降着で、きないケースも想定される。

○奈良総務部長 男女の出会いの場の支援を初め、子育て支援策を中心とした定住促進対策を研究し、行政による結婚の橋渡しを手伝うことを初め、若手職員から提案された施策について投資効果の検証、法令の整備および予算措置などについて、関係部局や関係団体と十分協議していきたい。

ついでの評価と反省点、今後について。

○教育次長 基本的な生活習慣の定着、読書活動の推進に取り組んでいる。

○質問 文化・芸術活動についての考えは。

○市長 文化や伝統を守り、受け継いでいくための仕組みづくりにも取り組んでいきたい。

【その他の質問】

○質問 教育振興計画に



榎 納 謙 司 議員

晩婚化が進む中、行政が結婚の橋渡しを

(質問)

定住促進計画対策の中で検討する

(答弁)

○質問 少子化・無縁社会の原因の一つである晩婚化の進行、このままだと、家庭が消え社会が存在しなくなる。今こそ、まちの活性化のために、行政の事業として婚

活に取り組み時期ではないかと思う。

市役所に結婚の橋渡しの部署を置き広く呼びかけ、活動する必要があると思うが考えは。

も、行政の事業として婚



住宅用火災警報器未設置世帯への対応は

(質問)



枝 澤 幹 太 議員

徳島中央広域連合と連携し啓発広報を推進する

(答弁)

○質問 「住宅火災」による死者が年間1000人を超える高い水準となっており、その6割が65歳以上の高齢者である。この「住宅火災」による死者数は建物火災による死者数の9割におよび、その内の約6割が逃げ遅れによるものである。

義務づけられている。消防庁の調査によると住宅用火災警報器などの設置の有無で比較すると、住宅火災100件あたりの死者数は7・7人から2・4人へと3分の1にまで減少している。火災から大切な家族の生命を守るために、住宅用火災警報器が、市内全家庭に設置できているのか、設置の現況と、今後の普及率向上への対応、対策は。

また、消防法および徳島中央広域連合火災予防条例により、すべての住宅に火災警報器などの設置（新築住宅はすべて設置が必要、既存住宅は平成23年5月末までに）が

なお、警報器は昨年12月現在、徳島県は51%全国平均63%で全国平均を大きく下回り、33番目と

設置が義務付けられた住宅
用火災警報器



いう普及率であった。県内では上勝町90%、勝浦町87%、阿波市69%であり、本市では平成23年2月現在63%の普及率である。

〔その他の質問〕

◎質問 防災上の危険箇所、急傾斜地、地すべり地区、土石流危険渓流、ため池などの点検、状況確認は。

○上野防災局長 未設置の世帯への対応として徳島中央広域連合とも連携しながら警報器の必要性や設置により有効性を訴え啓発広報を推進し、一層普及に努め、市の広報やホームページだけでなく広報車で市内全域への周知も今後対応していく。

○防災局長 梅雨、台風時期、土砂災害防止月間にあわせ、関係機関と毎年現状の確認と点検を行なっている。今後は産業建設常任委員の同行も検討したい。

◎質問 職員提案制度とは。また目的は何なのか。

○総務部次長 職員の自由で独創的な発想による市政全般にわたる提案を奨励し、実施することで、意識と意欲を醸成し、行政の改善、向上に寄与する目的で、現行の制度に従っていけばよいという意識の改善が図れる。



岡田光男 議員

伊方原子力発電所に対する市の対応は

(質問)

安全安心のため万全を図るよう改善を求めたい

(答弁)

◎質問 東日本大震災を教訓として①被災者への支援と活動状況について。②国難というべきときに本市の庁舎増築建設は、見直しが必要でないか。③一般木造住宅耐震化に補助の拡充は。④原発は未完成で危険、市民の安全・安心のために伊方原発にどのように対応していくのか。⑤新エネルギーの導入普及に期待が高まっているが、太陽光発電の推進のために、補助金を出せないか。

○上野防災局長 義援金は合計で910万911円の協力があり、支援活動については、延べ8人の職員が石巻市において物資の配送などの活動をし、保健師も3名宮城県に派遣し、避難者の健康管理に努めている。

○工藤総務部次長 増築棟建設は市民にとって必要な施設であり、合併特例債という有利な財政措置がある時期での計画といたことで理解していただきたい。

◎松岡建設部長 木造住宅の耐震化については、補助金も含め諸事情を分析し、研究・検討していきたい。

○河内環境局長 太陽光発電設置に市単独の補助制度は考えていない。今後、国の制度の進みぐあいを注視したい。

○川真田市長 伊方原発に対し、市民の安全・安心のために、万全を図る

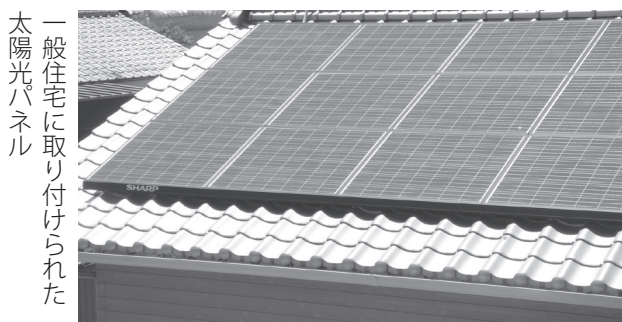
◎再問 復興支援の職員派遣、これらの人の報告や成果をどのように生かすのか。

○上野防災局長 派遣者の体験を市民と共有するために、何らかの方法で市民に知らせたい。また、今後、防災計画の見直しの時は、貴重な体験を参考にし、本市に合ったものにしたいと考えている。

〔その他の質問〕

◎質問 麻植協同病院の移転先は液状化が起りやすく、水質や水脈の異常が心配。地域住民の声を聞くべきでないか。

○副市長 基本構想が固まってから協議を考えている。



一般住宅に取り付けられた太陽光パネル



田村 修 司 議員

第5期介護保険事業計画のニーズ把握をどうするのか

(質問)

アンケートなどで調査していく

(答弁)



報誌や給付費のお知らせの通知などを通じ、制度やサービスについて広く市民の方々に通知している。アンケートの内容、趣旨などをわかりやすく明記し、対象者が記入しやすい方法で実施したい。

【その他の質問】

◎質問 介護予防、日常生活支援総合事業の導入を検討しているのか。

◎健康福祉部長 介護保険法改正に伴い、これから示される事業内容を見ながら導入を検討する。

◎質問 見守りサービスとしての緊急通報体制など整備事業を行っているが、機能しているのか。

◎健康福祉部長 ひとり暮らし高齢者などを対象に緊急通報装置を貸与している。

方法について、どのような見解を現時点でもっているのか。標準的設定方法を見直す予定があるのか。

◎健康福祉部長 現段階では6段階設定を予定しており、第7段階の設定はしない。保険料設定方法については、策定委員会で協議していきたい。



岸田 秀 樹 議員

庁舎増築棟における防災施設について

(質問)

機能が十分発揮出来るような配置計画を検討していく

(答弁)

◎質問 増築棟の2階に防災局を配置し、万一災害が発生したときは防災拠点とするためにこの増築棟は市民の避難場所としては、使用しないという基本計画で進めてきたが、今までの協議の中で防災局設置に関連した提案にもとづき修正をされ

た図面で発注したと聞かされていたが、何ら変更もされていない状態での発注であるが今後どのように取り扱い処理するのか。

続いて今回の東北大地震の災害に対して想定外の災害であると言われているが、過去にあらゆ

◎質問 第5期介護保険事業計画作成にあたり、国は地域包括ケアシステムの推進を大前提に考え、日常生活圏域のニーズ調査を行い、地域の課題・ニーズを的確に把握した上で、認知症支援策、住宅医療、住まいの整備、生活支援などを計画に位置づけるよう求めている。本市の高齢者福祉の状況は充実しているのか、あるいはサービスが不足しているのか。

◎河野健康福祉部長 介護予防に重点を置いた施

策を講じているが、その事業を第5期介護保険事業計画にも反映させていくとともに、より充実した事業が実施できるように努める。

◎再問 介護療養型の廃止期限の延長は、本市の介護保険財政、介護保険料にどの程度の影響があると考えているのか。

◎河野健康福祉部長 介護療養型施設は本市に3病院がある。介護保険料については、影響があると考えている。

◎再々問 ニーズ調査にあたっては、日常生活圏域による事情の違いや仮に非常に個人的な内容であっても、それぞれのニーズや意識も尊重する態度も必要かと思うが、本市においてどのような啓発活動を行った上で、どのようなニーズ調査をしていくのか。

◎河野健康福祉部長 広

◎質問 介護保険料設定



庁舎増築棟の完成予想図

る角度からの被害を想定した提案がなされてきたが、これを見直してきた結果が今日の大きな被害をもたらしたものと考えられている。本市においてもハザードマップ表現は、破堤を基本においているが、想定外というこ

ともとづいて考えれば内水面災害が発生、そこに大規模地震が発生、それに伴い津波発生により堤防越水が起これば、増築棟に付随する建物に設置するポンプ室・発電機・防災用各種資材が現在の図面では冠水する状況に

あるが、設計変更でもつと上部にあげることが出来ないのか。ハザードマップについても想定外という考えでいけば、前から言っているが見直しをするのか。

○工藤総務部次長 執務スペースなどのレイアウトと変更は建物の構造および空調設備に影響をおよぼすものでないので変更は可能と考え関係部局と具体的な協議を重ね機能が十分発揮できる配置計画を検討したい。施設の設備の浸水対策については過去の豪雨時にも冠水しない建物レベルを設定しているが、今回の地震を受け想定外の災害についても考慮していくべきだと考えている。

○河野副市長 国土交通省が平成21年に作成した吉野川整備計画にもとづき河川整備を行う。その中で庁舎というものを考える必要がある。ハザード

ドマップがあるからすべてをそれに合わせるというのは、現実問題として非常に難しい、経済的にも難しい。また市民の方の理解を得るのも難しいというふうに思っている。

[その他の質問]

○質問 被災者の救済について。

○総務部次長 相談があれば県と連携しながら対応していく。

○質問 情報通信関係について。

○防災局長 消防団退団者においても防災メール配信対象者としていきたい。

○質問 自治会長視察研修に担当職員以外の同行は。

○総務部次長 役員会で説明し、検討する。

○質問 ごみ収集所設置について。

吉野川遊園地跡地の利用について。

○環境局長 モデル的な簡易集積所を設置するなど、効果的なごみ収集のための集積所整備を進めたい。

○総務部長 市民の飛躍的な医療環境の向上が見込めるということから麻植協同病院に無償貸し付けたいと考えている。

○質問 市への譲渡後、

本会議

▼吉野川市庁舎増築工事請負契約の締結について

◇賛成多数で可と決定

意見書

▼地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 北川 麦議員
◇異議なしで可と決定

追悼



●5月25日に後藤田哲夫議員が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

6月議会定例会において 正副議長の改選・監査委員の選任(議会選出) および委員会構成の変更がありました

議長あいさつ



議長 近久善博

6月議会定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただき吉野川市議会議長に就任いたしました。身に余る

市民の立場に立ち、皆様方のご意見が議会に反映できるような議会運営をめざして、粉骨砕身頑張る所存です。安全で安心なまち『世代を超えて、夢紡ぐまち』を目指します。どうか皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

副議長あいさつ



副議長 玉水好夫

6月議会定例会におきまして、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしました。その責任の重大さを感じ

ております。微力ではございますが、市民の皆様のご期待にこたえられるように、議長をサポートし、公正で円滑な議会運営のために、誠心・誠意取り組みたいと考えております。『世代を超えて、夢紡ぐまち』吉野川市発展のため、頑張っております。今後とも皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。就任のごあいさつといたします。

各委員会構成

〔常任委員会〕

総務常任委員会

委員長 田村 修司
副委員長 工藤 俊夫
委員 塩田 吉男
委員 玉水 好夫
委員 増富 義明
委員 近久 善博
委員 川村 洋樹

〔文教厚生常任委員会〕

委員長 岸田 益雄
副委員長 岡田 光男
委員 細井 英輔
委員 相原 一永
委員 河野 利英
委員 藤原 一正
委員 山下 智

〔産業建設常任委員会〕

委員長 北川 麦
副委員長 枝澤 幹太
委員 榎納 謙司
委員 岸田 秀樹
委員 榎原 五男
委員 福岡 純

〔議会運営委員会〕

委員長 栗原 五男
副委員長 川村 洋樹
委員 田村 修司
委員 岸田 益雄
委員 増富 義明
委員 高木 純

〔議会広報特別委員会〕

委員長 岡田 光男
副委員長 相原 一永
委員 枝澤 幹太

〔監査委員〕

委員 北川 五男
委員 岸田 秀樹
委員 河野 利英
委員 栗原 五男
委員 福岡 純

▼ 薫風会

代表 栗原 五男
副代表・経理責任者 藤原 一正

▼ 麻植会

代表 藤原 一正
副代表・経理責任者 岸田 秀樹

▼ 日本共産党

代表 高木 純
副代表・経理責任者 岡田 光男

▼ 民主・市民ネットワーク

代表・経理責任者 川村 洋樹
副代表 北川 麦

▼ 公明党

副代表 川村 洋樹
代表 相原 一永

▼ 明光クラブ

代表 榎納 謙司
副代表 増富 義明

▼ 市政クラブ

代表 高木 純
副代表 榎納 謙司

市民のページ

戦争とは

山川町 原田 親光

家内の兄が残した日記を今読み直した。京大で西田哲学を修め「卒業論文」は、「自己存在」である。敗戦を知りながら教官から比島の戦場へ指揮のため志願し飛んでいく。マッカーサー上陸作戦の前日であった。翌日、戦死しているからいかに激戦であったかがわかる。予備学生出の海軍少尉の彼が熱血をもって国に殉じたかが知れた。最高学府で学び知力も体力もあったのに何故かとの反問があった。

彼は日記に「母や妹のために。」とある。独身で26歳で散華している。当時の学生は戦場人道徳

上の理想、西田幾多郎「善の研究」を持参している。人間の永遠の命は国に殉ずることだと信じていた。戦争に敗れば「肉親の母や妹が陵辱の辱めに合う。」自分が犠牲になっても少しでも有利な結果にしたいの決意であった。たかと推しはかった。哀しくも崇高な行動だと感じたりした。

は生まれない。」と断っている。慈愛と誠実の人が戦争に参加したとはやはりそれなりの心の葛藤があつてのことかと思ったりする。妹に本を贈るときも自分が読み感想を朱書している。帰省し母が出した野菜料理でも「お母さんおいしかった。」と言っていたと家内は涙ぐむ。

戦争とは悲しくも疎ましいものである。人類愛の情があるならそれは絶対にならぬはずだ。人間の英知はまだそこまでいっていないのが現状だ。日本の憲法「戦争の放棄」も相手に託さねばならないのが実状だ。全人類がしあわせに生活できる文化社会をつくる自覚がなくてはならぬ。地球の資源を大国が独占することなく貧困を無くすことだ。そして、核兵器が抑止力という幻想を棄て廃絶しなくては人類は絶滅危惧種と登録されよう。

クイズ

〈問題〉海に住む生き物です。

漢字をひらがなに直してください。

- | | | |
|------|-------|------|
| ① 鮪 | ② 虎魚 | ③ 珊瑚 |
| ④ 海月 | ⑤ 竹麦魚 | ⑥ 海豚 |
| ⑦ 鰯 | ⑧ 馬面剥 | |

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎ 送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242

◎ 締め切り日／平成23年10月7日(消印有効)

チョットひと言

☆ホテルまつりの期間中、シャトルバスは山川から出ているようですが、川島庁舎の方にも回ってほしいですね。(川島町 伊藤さま)

☆議会のことがよくわかりとても勉強になります。(山川町 大谷さま)

◎(前回の回答)

問題1 ①議員は4年ごとに選挙によって選ばれます。

議員数は法定数(吉野川市の場合は26人)を超えない範囲で条例で定めることとなっています。

問題2 ③7党派

党派は、市政についての考え方や意見の同じ議員が集まってつくる団体です。

問題3 ②議員の中で選挙する

議長は議会を代表し、議場の秩序を保ち、会議を順序よく進めます。また、議会の事務を取りまとめること等の仕事をします。

【応募総数】14通

